

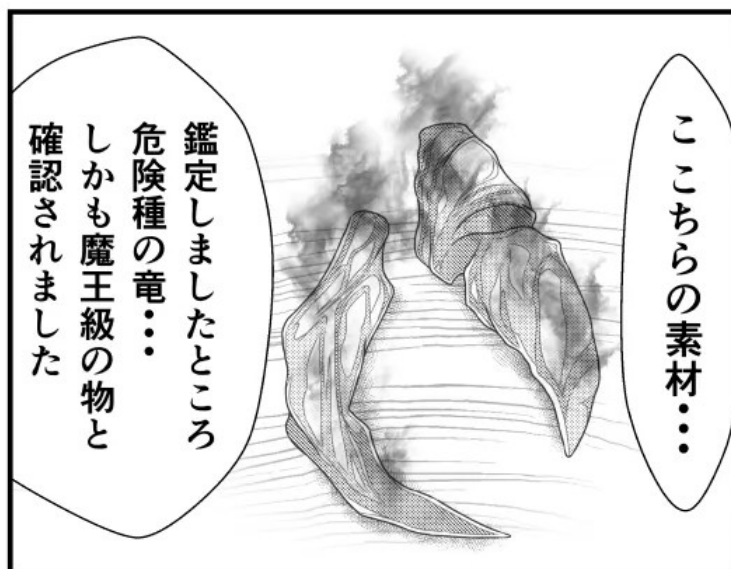
女体化チートが
異世界でも
想像以上に
万能すぎた
その6



なかよShiこよShi



こんな希少な物がギルドに
持ち込まれたのは初めてです…



ここちらの素材…

鑑定しましたところ
危険種の竜…
しかも魔王級の物と
確認されました



え？

名前 : ナナツキ
レベル : 1863



このレベルの素材を買い取るには
貴女のギルド登録が必要になります
身分確認のためですね

こちらの水晶に手を
かざしていただけますか



利用するのは初めてですか？
大丈夫ですよ簡単な確認です

保有魔力量によって
水晶の色が…

この世界には

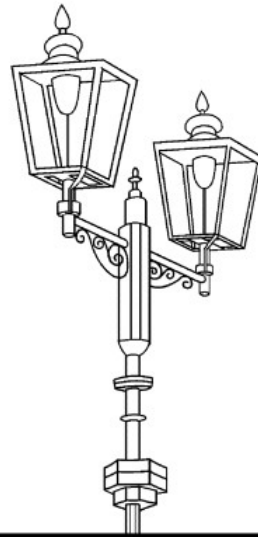


魔力というものがある

この世界の根幹こんかんにあるものは

魔力であり

文明の礎いしずえとなっているものだ



人類は魔力の存在に気づき

レベルという概念がいねんがあることを発見した



人の体は鍛えようと意識しなければ効果は薄いとされている

これを意識性の原則げんそくという



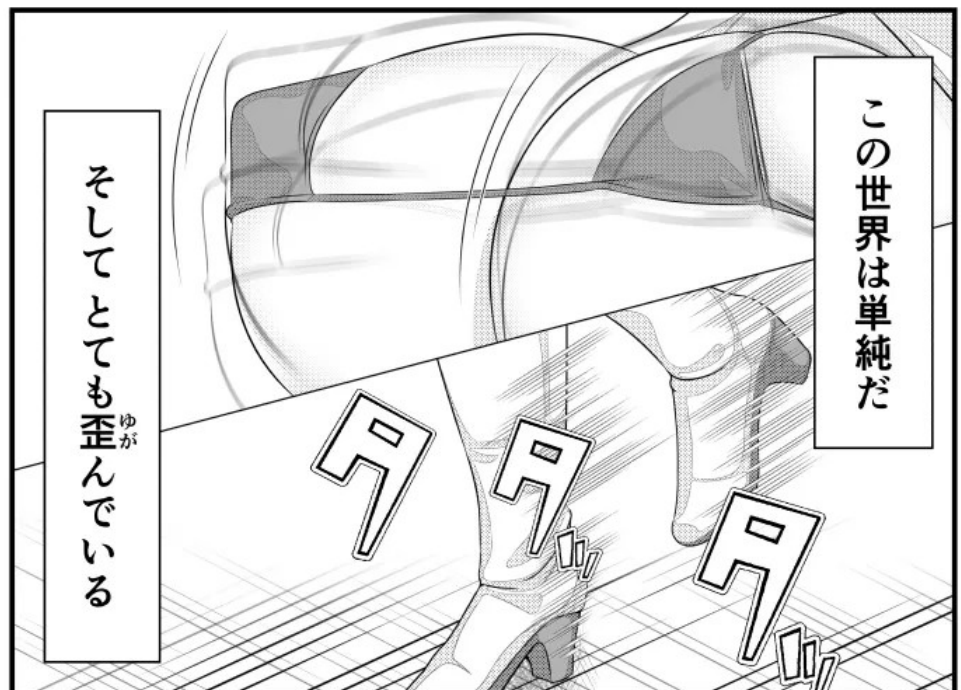
鍛える目的や方法それによる効果を意識して初めて大きな効果を得られるというものだ

そしてもうひとつ漸進性の原則ぜんしんせい



強くなるためにはゆっくり少しずつトレーニングの負荷をあげていくそれに反応して体が強くなるのだ

そんな原則を吹っ飛ばしたのがレベルという概念がいねんだ



種族 : ゴブリン
レベル : 3

ゴブ?

最弱の魔物ゴブリンでさえ
レベル3はあるというのに

おっぱい丸出しに
してしまった……

ふう……

俺の本当のレベルは1だから

レベル : 1 (↓1862)

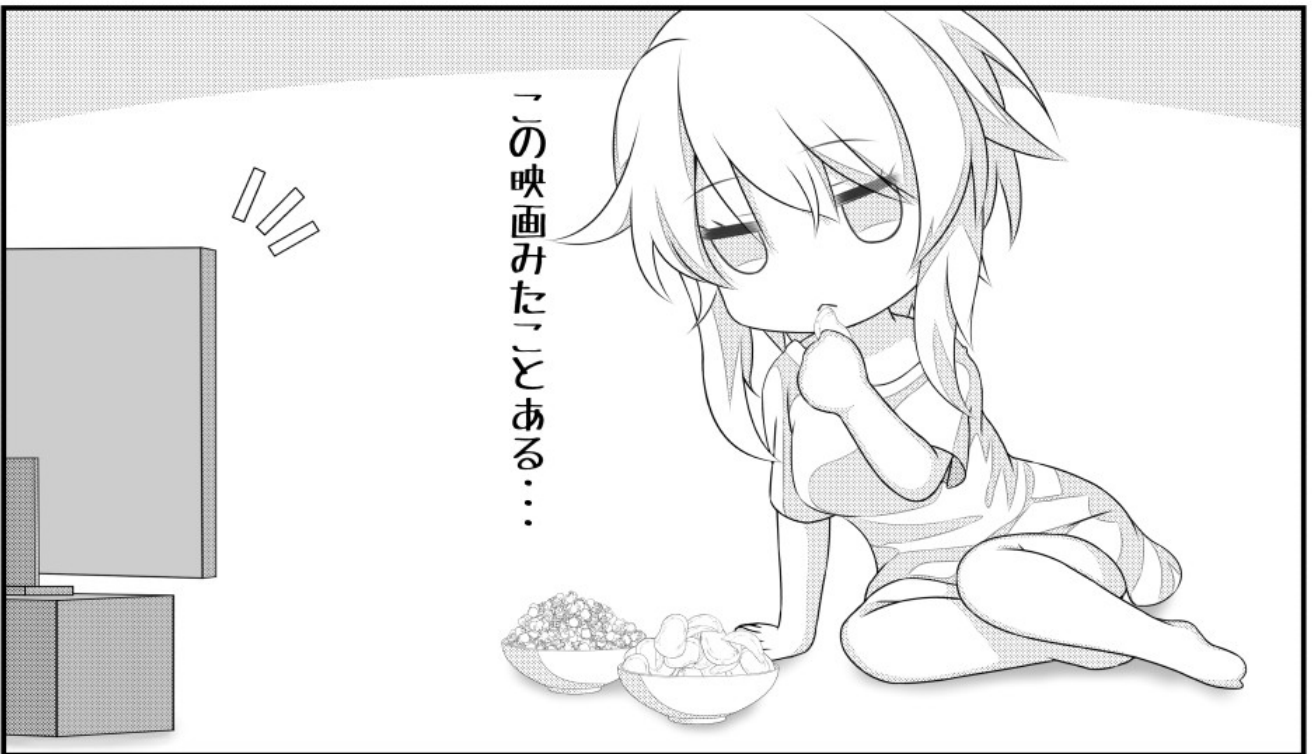
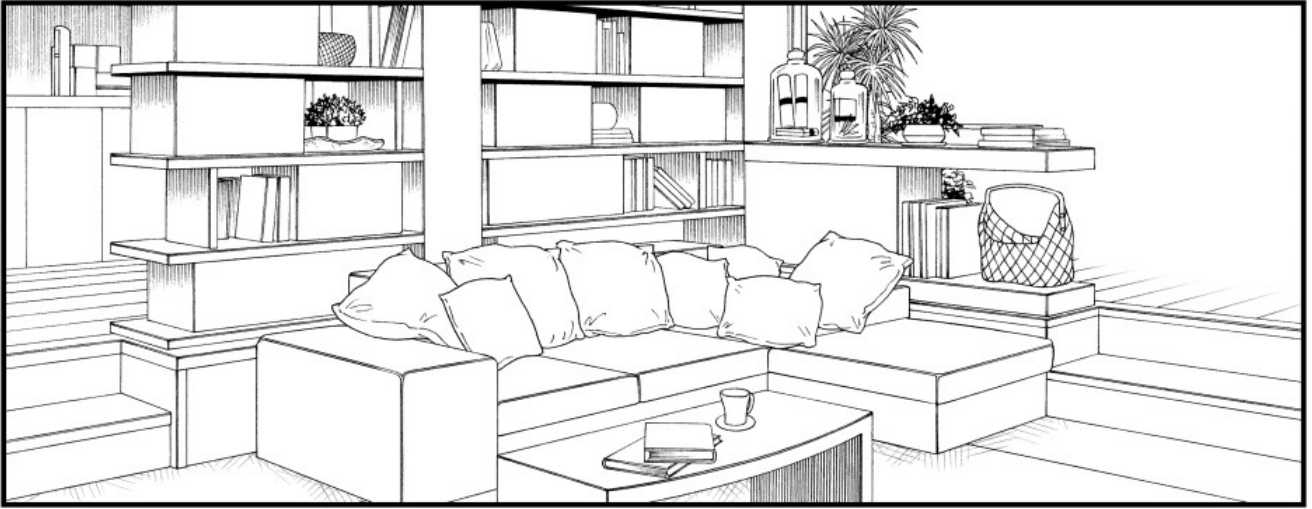
ブースト効果が終了しました

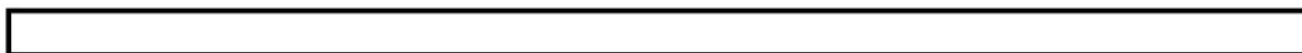
俺がこんなことしている
理由はというと……

人が多いよ……

うう……
人間怖い

でも目的のためには
がんばらないと……







そんな中森深くで
ある者達との出会いがあった

一人目はカレンという
ちっちゃい少女
危険種というものを
捜しに来たらしい

流れで襲っちゃったけど



二人目がユキという強気な少女
カレンちゃんのお仲間みたいだ

く……
ゴブリンを操って
人間を攫うなんて……
何故だ……
力が入らない……

当然襲いましたけど



それと変な
ゴブリン達

どんな時でも
仁義ってもんを
忘れちゃいけない

お腹が減ってたみたいだから
地球の食べ物あげたら
なんかレベルが上がってたよ

あとは……

——主人っ

俺のカップ麺を勝手に食べた——

ご主人っ

あこの時のカッブ麵泥棒……

コイツ↓



そして正体はなんと最初に会った竜だと言うのだ

どうやら初めて俺を見たときからこっそりと後をつけていたらしい



どうやら初めて俺を見たときから

この娘だ

聞いておるのかー？

掃除をするからそこを退くのじゃ

見た目通りのメイド少女……

では当然なく



まずはこの娘に会ったその後のことを話さないといけないうらう

カッブ麵泥棒を発見した後色々この世界のことを聞くことができた

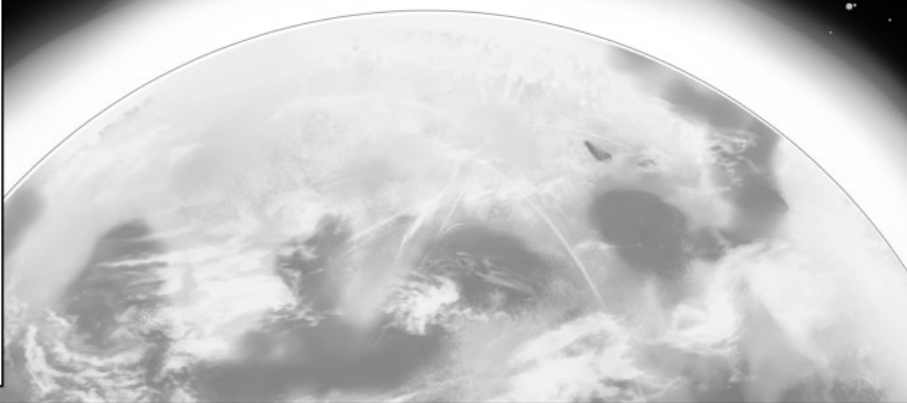
名前はリーゼ・A

初めて遭遇したとき鑑定したら『魔王』とか載ってた気がするけど

■—■■■竜
■■の■■魔王
孤高の魔王
女
215歳
428

これが俺が送られたこの世界

この星にある最大の大陸



今俺がいる場所は
大陸の北部に位置する
大森林の奥深く


魔獣が多く生息している
魔境といわれている場所だ



最近では危険種と称される
生物まで出現するという


そんな所に放り出した
女神様には殺意しか湧^わかないが






そういう危険なところで
素っ裸同然の格好でいた
俺って……

そんなこの世界の情報を
教えてくれたのが



ずずずっ……

俺が魔力回復のために
作ったカップ麺を食べた奴




それがコイツだ

うむ！
なかなか美味であるな！

まあこの時点では
コイツの正体が竜だとは
気付かなかったんだけど……

危ない人でもサポ子がいるから
大丈夫だろうって考えだったよ

このカップ麺娘が言うには
人里までは距離はあるが
歩いていけないわけではない
とのこと



しかたないから
歩いて目指すか……

となる訳もなく

今は真夜中だし

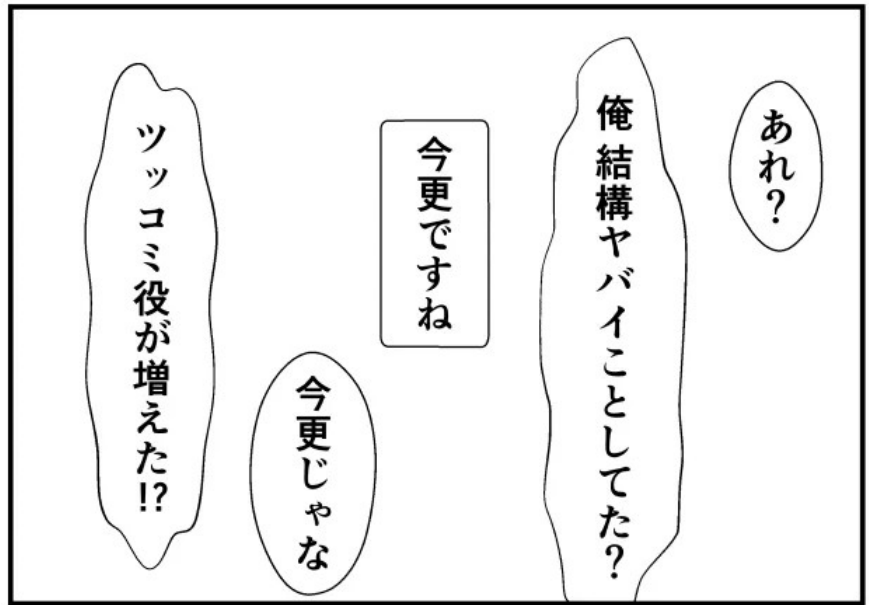
カリンちゃんを襲っちゃったし
ユキって娘も襲ってる最中だし



はあ……
話を戻そう

あ……

雨が降ってきた



あれ？

俺結構ヤバイことしてた？

今更ですね

今更じゃな

ツッコミ役が増えた!?



仕方ないから
近くの洞穴ほらあなに避難したんだ

あユキって娘はサポ子が
眠らせて保護したよ
エッチできる状況じゃないしね



そこで考えた

カリンちゃんのお処遇

ユキちゃんのエッチが途中

森に来ている

え……俺ってば

少女を襲った極悪人？

人里に行ったら

捕まるのかな

いや容姿を変えれば

でもこの世界には

スキルってものがあるらしいし

嘘を見破るスキルとかあるのかな

エルフは生えている!?

この泥棒の人どうしよう

なんでつい来てるんだ……

ふう……



面倒くさあ

!!



あの……そろそろ
わらわ
妾の正体を聞いてくれんかの

このツノとか
見て何とも思わんの？

ツノ↓

そんなのどうでもいいから
お前も協力するんだよ



考えるのやめた

俺ここに住むわ

は？

もちろんサポ子の力で
快適にするけど

よろしくサポ子

わらわ
妾の正体も確かめずに
この対応ってどうなのじゃ



この方が向こう見ずなのは
いつものことなので……

私としては貴女には個人的に
お聞きしたいことはありますが

まあそうじゃろうな
其方があやつの臣であることは
わかっておる

サポ子っ
寒いから早くしてー！
俺 ほぼ全裸だよっ

そういうわけで

最初は洞穴ほらあなの奥に
一部屋だけ作るつもり
だったんだけど

サポ子が
セキユリティが甘い
と抜かしたので

部屋を
もうちよつと奥に

大して変わらないと
カップ麺娘が抜かし

罨くまを作ったり

罨くまゾーン

さらに拡張したり

そんな感じで
がんばったじゃないか

何をするにしても
拠点は大事だよ

そのせつかくの拠点を
散らかしすぎじゃぞ

それと結局 妾の説明が
なかったんじゃが？

なんじゃ
この本の量は

なんでそんな格好
してるんですか？

お主がさせたんじゃろっ！

まあそんな感じで会話しているが
こいつはとんでもないやつだった

まずはこれ

初めてこいつを鑑定したときは
こんな感じだったっけ

名前	: ■-■■■
種族	: ■■の■■■竜
身分	: 孤高の魔王
性別	: 女
年齢	: 215歳
レベル	: 428

これが本人にステータスを見せられたもの

名前	: リーセ
種族	: 竜界高の
身分	: 孤高の
性別	: 女
年齢	: 215歳
レベル	: 4280

まあいろいろとおかしい

まずレベルだ
初めて鑑定したときは
400ぐらいだった

実際は4千を超えていた

この世界の平均レベルは
知らないけど
カリンちゃんは40くらい
だったよな

なんでも通常の鑑定では
見れないように偽装しているらしい

それ以上に
目を引いたのが

身分：竜界の創神竜

え……
神竜？

神様なの？

くふふふ……

そろそろ^{わらわ}妻の正体を
聞きたくなっただじゃろ？

正直あんまり興味ないです

……

あつ
カリンちゃんとユキちゃんは
しっかり保護してるから大丈夫

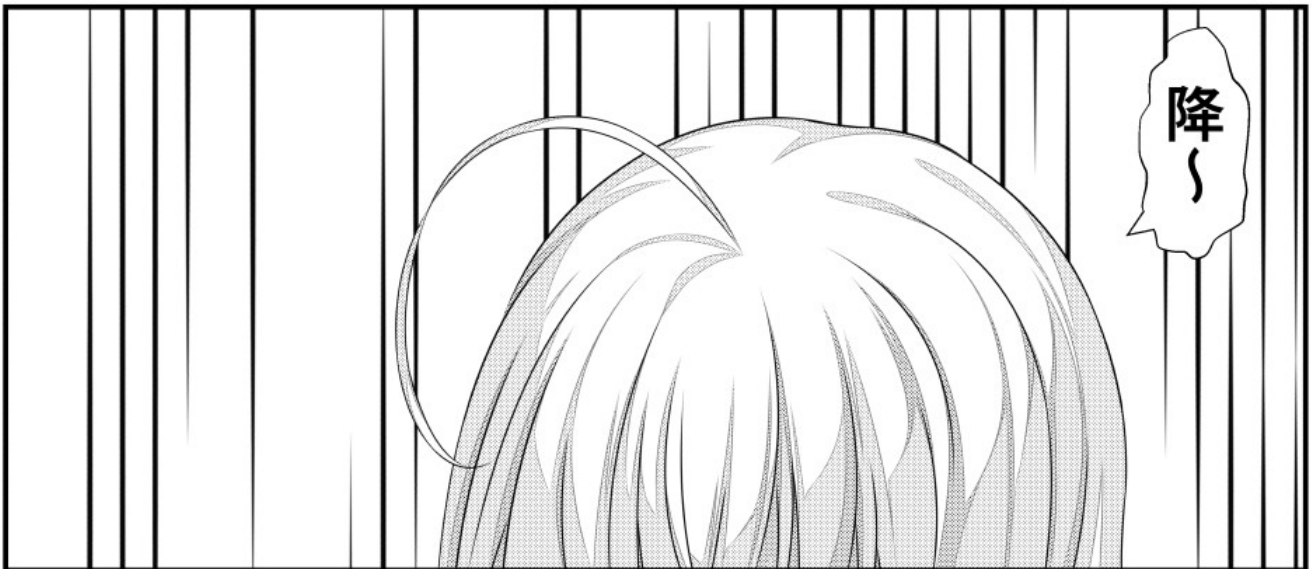
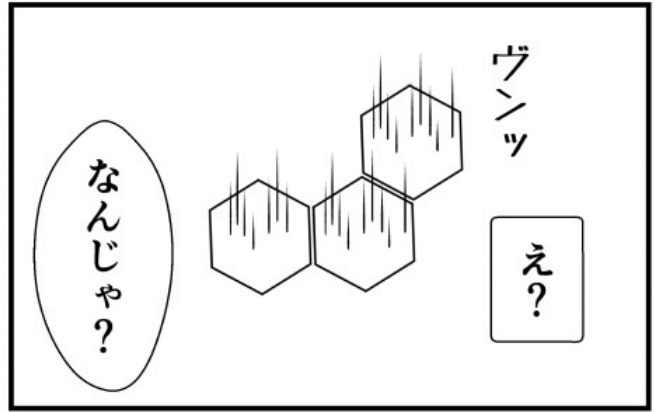
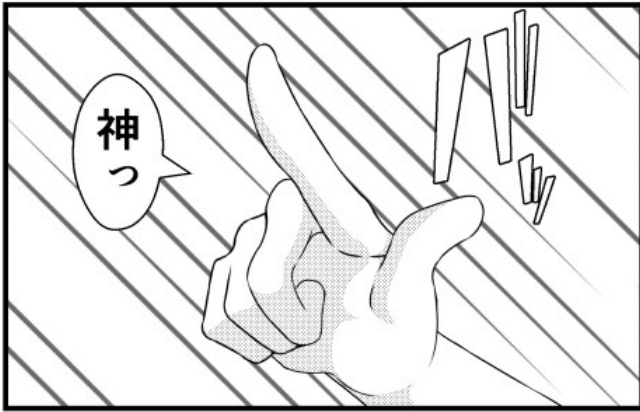
保護ですか

ものは言いようじゃな

しかし
ここは^{わらわ}妻の正体で
盛り上がるところじゃろ……

この方はいつも
こんな感じですよ

ニムニム



神なのに！…

この後
竜娘と女神様で
ひともんちやく
一悶着あったんだけど
その説明はまたあとで

回想が長いってば

俺が今人里にいるのには訳がある

ある計画のためだ

そもそも俺にはこの世界で
やらないといけない事がある

赤ちゃんをたくさん産まないと
元の世界には戻れない

うん改めて見ても
なんだこの設定

サポ子の力で女の子を無理やり
孕ませ状態にできるけど

他人の体をそこまで変化させると
力のほとんどを使ってしまいうらしい

元の世界とは違ってこの異世界では
サポ子の力は有限だという

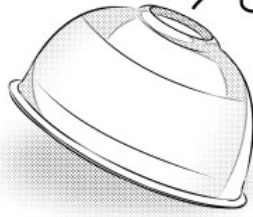
それはこの世界はまだ女神様が
完全には管理ができていない
ことが原因だというが



サポ子の力は重要だ
俺の命がかかっているのだ

それを何とかしよう
したんだけど

ころ…



【カップ麺】
地球産の即席麺
熱湯を注ぐだけで調理完了する
魔力を1割回復する

俺には効果がなかった…

それはそうか
地球産の物を食べて
魔力回復とか



日常的に口にしてたんだ
効果があるんなら今頃
この世界では超人になってるよ

だけど困ったことに

俺の計画は
レベルがある程度無いと
実行できない

計画とはなにかって？



異世界

ダンジョン化計画!

おいでませ

サポ子
なにか言いたいことでも?

.....



まあいいや
簡単に説明すると

俺の拠点に
人(女性)を呼び寄せて

くっ!
武門の後継者たる私が
そんな辱めを受けるくらいなら...

殺せ!

くっころ女騎士キター!!

捕まえて

名前 : ユキ
レベル : 54



エッチして

孕ませる!

男の体(俺)を
使って赤ちゃんを
孕ませてもカウント
されるみたいだからね

ラノベの読みすぎでは？

あの上司が好きそうな設定です

ラノベは人生で
大切なことを教えてくれる！



とまあ
その計画を実行する
前準備のために
人里にきているわけ

なにせダンジョンに
人を集めないといけない

この世界には当然のように
冒険者がいるらしい

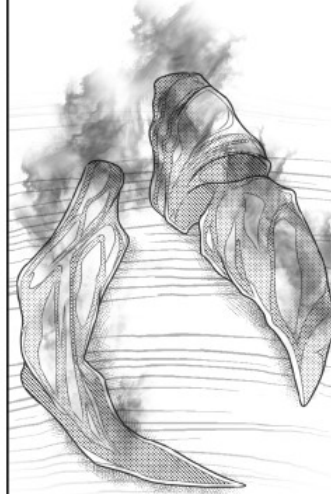


そしてギルドも

さすが異世界

あれ…
英語？

そこに竜娘がくれた
爪を持っていったんだ



一応アレは魔王認定されてるから
ギルドもすぐに動くだろうって
竜娘は言ってたな

ただレベルが低いと
信用されないだろうとのこと

地球産の食べ物を
爆食いしようとしたら…

効果がありませんでした

レベルアップ食品も
効果がなかった…

ここで今回の冒頭に言った
レベル云々の話になるわけ

魔力メーター



サポ子と言うには
俺には魔力を体内に
留めておく事ができないらしい

『吸精』スキルで一時的には
取り込むことができるけど

あくまで一時的

空気が漏れるように
抜けていってしまうのだ

俺の基本レベルは変わらない

永遠のレベル

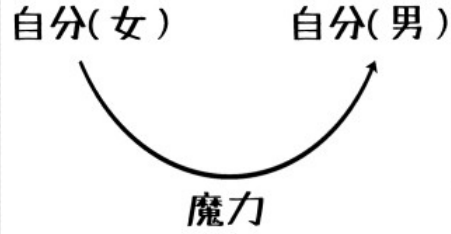
『吸精』スキルで取り込んだ魔力は
サポ子に渡すぐらいしかないと
思っていたけど

その
『吸精』スキルに
裏技があったんだ

←
前回のサポ子とのやり取り

男性の体を維持するために
常に力を供給しています
つまり男性体に吸精しても
自分のチカラを循環させる
ということになるだけなので
意味はないですよ

そう循環じゅんかんさせれば
いいんだ

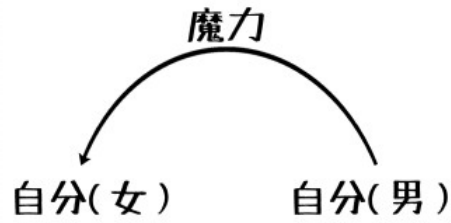


魔力が体から抜ける前に
サポ子に渡す

そしてサポコ子が
俺の体(男)を作る

そののどろが
裏技なんだって？

逆に男の体から魔力を
循環じゅんかんさせること



男の体(俺)は
この世界では魔力で
維持しているという

つまり魔力の塊なのだ

だったら男の体なら魔力を
留めておけると考えた

男の体で魔力を得ればいい

で試してみたら
いけたんだ

男の体(俺)が
レベルアップしてた

男の体で食べまくって
それを俺に循環じゅんかんさせる！

男の体は何人にも増やせるし
満腹での限界は心配はないし

6号

早漏

1号

2号

それでこんなレベルがぶっ飛んだ
俺ができたわけさ

レベル1に戻ったけど……

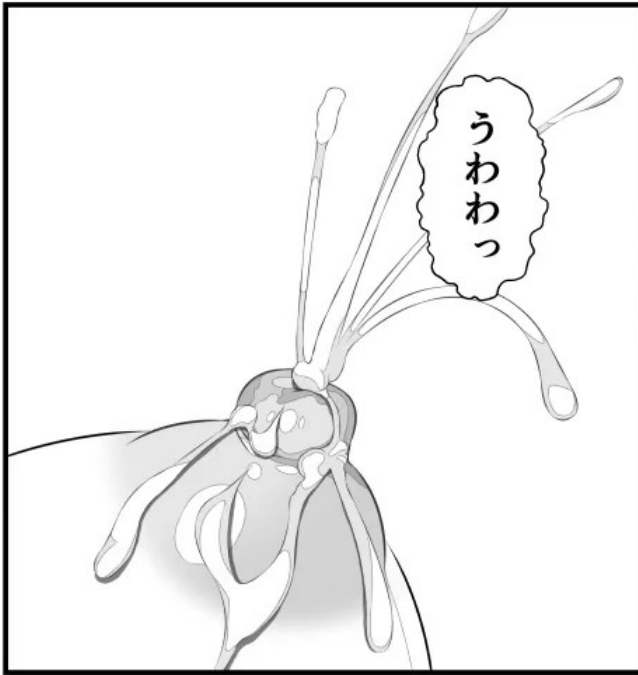
まあ今はそんなことより

おっぱいが痛いっ

大きいおっぱいで
走るとこんなにも痛いのかっ

おっぱい
大きくしすぎたかな……

ちぎれるかと思った……

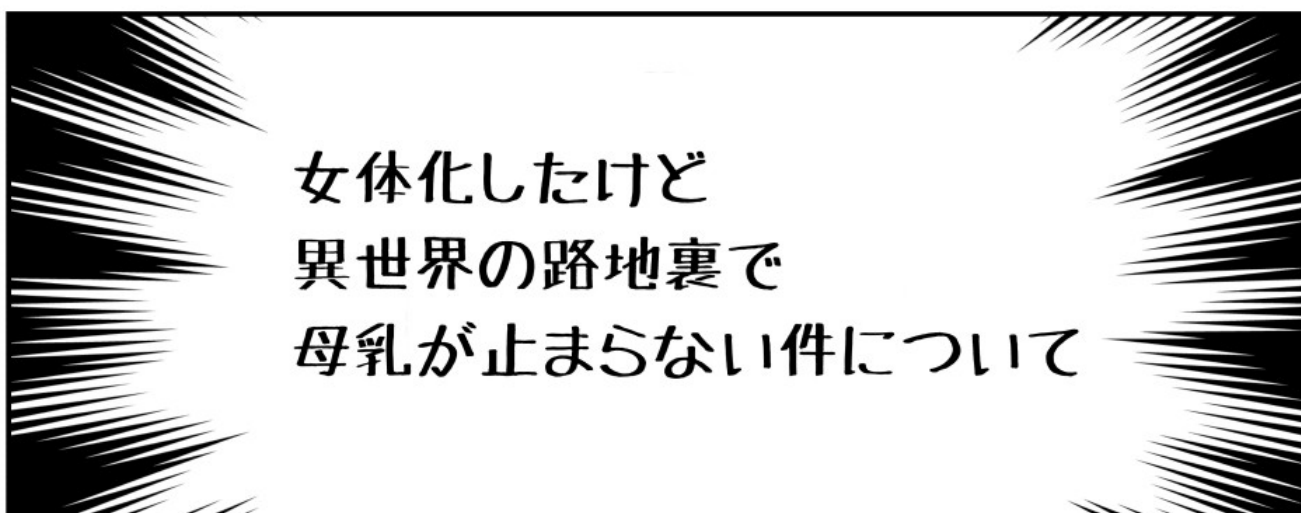




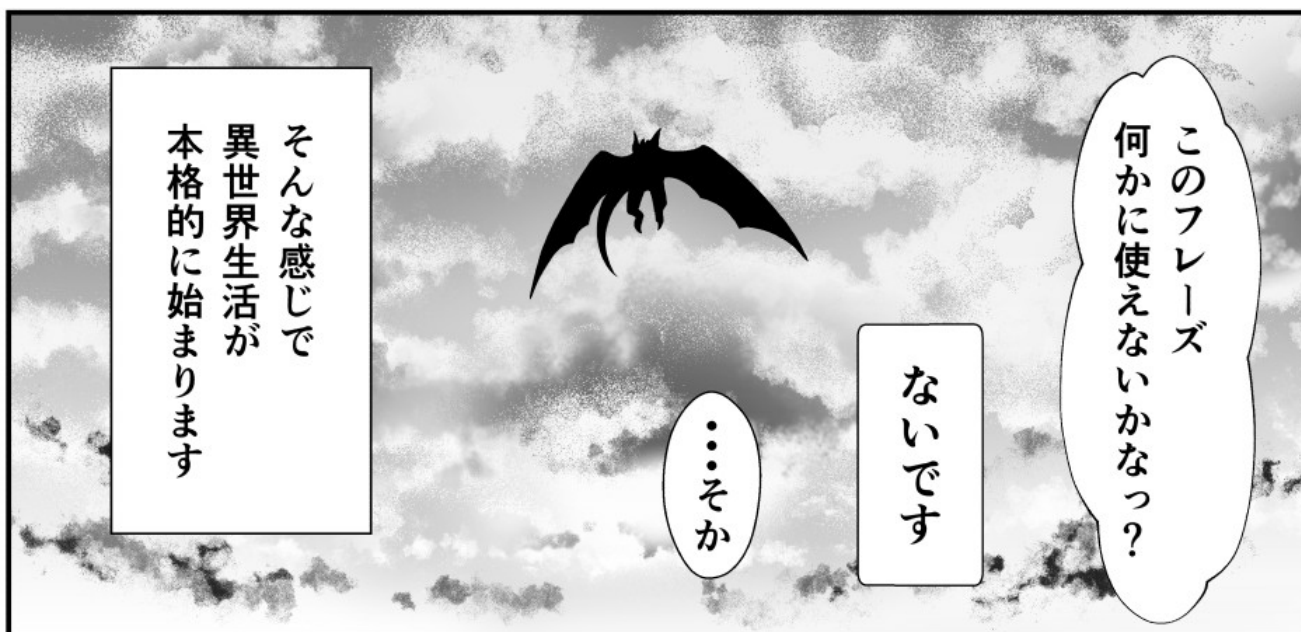
激しく動いて
血流がよくなったただけでしょう

女性の体はまだまだ
わからないことだらけだ……

……



女体化したけど
異世界の路地裏で
母乳が止まらない件について



このフレイズ
何かに使えないかなっ？

ないです

……そか

そんな感じで
異世界生活が
本格的に始まります

あとがき

この度は、なかよShiこよShi

「女体化チートが異世界でも想像以上に万能すぎた その6」をお手に取っていただき、ありがとうございます！

今作は久しぶりの異世界編になりました。

久しぶりだったので、異世界編の復習の意味もこめて、これまでのストーリーのあらすじもいれてみました。

今回で異世界の下地ができました。そろそろ本格的に異世界を楽しみたいと思います。

そして今回はエアコミケ2にあわせての販売となりました。

エアコミケ2のことを知ったのは11月なので、

参加するために、制作時間を切り詰めての作品になりました。

なのでHなシーンが少なくなっていました。

せっかく久しぶりにおっぱい大きくしたのですけども。

女体化チートシリーズも今作で9作目となりました。次回はついに10作目です。まだまだ続ける予定ですので、お付き合いいただけたらありがたいです。

異世界編の続きは、『その5』から『その6』までのように、

間を空けるつもりはありませんので、続編も見てくださるとうれしいです。

このあとがきも、締め切りギリギリに書いているので、今回はこのあたりで。繰り返しになりますが、今までのシリーズに続き、お手に取っていただいた方、今回初めてお手に取っていただいた方、本当にありがとうございました。

そして、久しぶりの異世界編を読んでくださり、心より感謝いたします。

またお会いできることを願っております。

12月某日 なかよShi

～注意事項～

- ・18歳未満の閲覧を禁止いたします。
- ・作品の一部または全ての無断転載・無断使用・無断複製・無断アップロード及び、個人以外での利用を禁止いたします。

女体化チートが異世界でも想像以上に万能すぎた その6

2020.12.27

なかよShiこよShi(なかよShi)

連絡先

nakayo4circle@yahoo.co.jp

blog <https://ci-en.dlsite.com/creator/6558>

